

門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定委員会（一次審査）会議録

会議名称	門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定委員会（一次審査）
開催日時	平成30年2月1日（木）午後2時00分～午後3時25分
開催場所	門真市役所本館2階 大会議室
出席者	（委員長）久保委員長 （副委員長）満永副委員長 （委員）畑山委員、河合委員、寺西委員【出席人数5人／全5人中】 （事務局）水野次長、三村学校教育課長、清水社会教育課長補佐、石原学校教育課副参事、松本社会教育課主査、山下社会教育課主査
議 題 （内 容）	1. 委員長・副委員長の選出 2. 会議の公開・非公開について 3. 会議録について 4. 一次審査について 5. 二次審査について
傍聴者数	－（非公開のため）
担当部署	（担当課名）教育部 社会教育課 （電 話）06-6902-7139（直通）

<事務局>

それでは、ただいまから門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定委員会を開催いたします。

まず初めに、事務局より委員の皆様を紹介いたします。お手元の資料の1ページ、資料1、門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定委員会委員名簿をご覧ください。

大阪国際大学、^{くぼ ゆかり}久保由加里准教授でございます。

大阪国際大学、^{はたやま あきひこ}畑山明彦様でございます。

門真市 企画財政部長、^{かわい としかず}河合敏和でございます。

門真市教育委員会事務局 教育部長、^{みつながせいいち}満永誠一でございます。

門真市教育委員会事務局 教育部総括参事、^{てらにしてるゆき}寺西照之でございます。

なお、こちらにおりますのが、事務局職員です。よろしく願いいたします。

続きまして、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

まず、門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定委員会議事次第です。

次に、1 ページ、資料 1、門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定委員会委員名簿です。

次に、2 ページ～5 ページ、資料 2、門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則です。

次に、6 ページ～9 ページ、資料 3、審議会等の会議の公開に関する指針です。

次に、10 ページ～12 ページ、資料 4、門真市情報公開条例（抜粋）です。

次に、13 ページ～32 ページ、資料 5、門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定審査実施要項です。

次に、33 ページ～35 ページ、資料 6、門真市中学生海外派遣研修業務委託仕様書です。

最後に、36 ページ～37 ページ、資料 7、門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者評価基準（一次審査）、（二次審査）（案）でございます。

落丁等がございましたら、お申し出いただきますようお願いいたします。

よろしいでしょうか？

それでは、案件 1 「委員長、副委員長の選出」に入りたいと思います。

資料の 2 ページ、資料 2 をご覧ください。門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則第 4 条の規定では、委員長及び副委員長は互選により定めることとなっておりますことから、委員の皆様により互選していただきたく、存じます。皆様、いかがでしょうか。

<寺西委員>

委員長には航空事業論を専門とされ、総合旅行業務取扱管理者の資格を持ち、海外研修の企画、監修、引率の経験のある久保委員を推薦します。また、副委員長には、長年、学校教育にたずさわり、中学校の校長経験もある満永委員を推薦します。

<事務局>

ただいま、寺西委員から委員長に久保委員、副委員長に満永委員をとのご推薦がありましたが、いかがでしょうか。

<選定委員>

異議なし

<事務局>

ただいま、異議なしの声をいただきましたので、委員長は、久保委員に、副委員長は、満永委員にお願いしたいと思います。

久保委員、満永委員は、それぞれ委員長席、副委員長席へ移動をお願いします。

それでは、今後の議事運営を久保委員長にお願いしたいと存じます。委員長よろしく願いいたします。

<久保委員長>

ただいま委員長にご指名を賜りました久保由香里と申します。何年かこの事業に担当させて頂いておりますけれども、また、気持ちを新たに、今プレゼンテーションコンテストを頑張っている生徒達に想いを馳せながら、こちらの事業が門真市にとっても又、門真市の中学生にとっても、教育にとってもより良いものになる、そのような事業になるように尽くしていきたいと思います。よろしく願いいたします。皆様方のお力添えを賜りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それでは私の方で進行させていただきます。案件2、本委託事業者選定委員会の公開・非公開について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

本市におきましては、資料の6ページ、資料3「審議会等の会議の公開に関する指針」第3条において、審議会等の会議は公開するものとしておりますが、本委員会の会議につきましては、率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当にそこなわれる恐れがあること、また、申請団体のアイデアなどが公開されることにより申請団体に不利益を及ぼす恐れがあることから、非公開とすることが適当と考えております。このことについて、ご検討をお願いいたします。

<久保委員長>

ただいま、事務局から会議を非公開とすることが適当との提案がありましたが、いかがでしょうか。

<選定委員>

異議なし

<久保委員長>

それでは、事務局の提案どおり、本委員会の会議は非公開とします。続きまして、本委員会の会議録について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

本委員会の会議録につきましては、同じく、資料3「審議会等の会議の公開に関する指針」、資料の7ページ、第8条第2項に基づき、教育委員会により候補者が決定された後、第1回と第2回の会議録を併せて公表します。また、会議録の作成につきましては、資料の10ページ～12ページ、資料4「門真市情報公開条例（抜粋）」の第6条各号に掲げる不開示情報に該当する情報について十分に配慮したうえ、全文筆記で作成したいと存じます。

<久保委員長>

ただいま、事務局より会議録の公開と作成について提案がありましたが、いかがでしょうか。

<選定委員>

異議なし

<久保委員長>

それでは、本委員会の会議録は全文筆記とし、公表は事務局案のとおり行います。

つぎに、案件3、門真市中学生海外派遣研修委託事業者の一次審査について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

一次審査のご説明の前に、昨年夏に行いました第6回門真市中学生海外派遣研修のご報告をさせていただきます。

平成29年7月29日（土）から8月7日（月）までの10日間、引率職員2名、添乗員1名が同行し、これまで同様オーストラリア、アデレード市で研修を行いました。研修先は、チャールズ・キャンベル・カレッジ校で、学校生活体験プログラムを中心に、課外活動、市内見学などを行いました。ホームステイ先は、1ホストファミリーに1名の研修生がステイする形を取り、学校では、バディと呼ばれる学生についてもらい、一緒に授業を受けました。

また、現地の小学校にも出向き、日本の伝統的な遊びを伝える等の交流も行いました。課外学習では、ゴージ野生動物保護区や南オーストラリア州立博物館を見学し、フェアウェルパーティーでは、研修生によるプレゼンテーションを行いました。

帰りのシンガポールでのトランジットでは、異文化学習を目的にシンガポールの文化研究施設を見学しました。

添乗員には、生徒の心身のケアも含め、渡航・帰国及び研修生の引率・世話・調整を行っていただきました。

また、ホストファミリーが初日に来ず、急遽別のホストに受け入れてもらった生徒やホストファミリーと合わずホストを変更した生徒がおりましたことをここでご報告させていただきます。

次に、一次審査についてご説明申し上げます。平成29年11月30日より門真市中学生海

外派遣研修事業委託事業者の募集を行いました。質問はなく、平成30年1月24日まで受け付けを行い、2者の応募がございました。応募者の資料につきましては、事前に委員全員にお渡ししております。

次に、選定の方法についてご説明いたします。

門真市中学生海外派遣研修委託事業者候補者の選定につきましては、審査の公平性、透明性を高めるため選定委員会を設置し、書類審査による一次審査、プレゼンテーション審査による二次審査で候補者を選定します。審査は、総合得点制とします。応募事業者が2者であるため、一次審査と二次審査の総合得点により、審査します。審査結果は、候補者のみ実名とし、それ以外は名前を伏せた形で、申請団体全者の得点をホームページに公表いたします。

本日は、一次審査としまして、提出された申請書類に対して審査を行っていただきますようお願いいたします。

次に、審査の基準についてご説明します。資料の36ページ資料7「門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者評価基準（一次審査）」をご覧ください。

「会社概要業務実績」が10点、「基本的な考え方」が5点、「支援内容」が10点、「海外派遣研修」が40点、「危機管理体制」が30点、価格点が5点、合計100点満点としております。委員の皆さまの総合点を委員数で割った点を応募者の得点にしたいと考えております。

評価項目1、会社概要業務実績の内、①～③については、その中で最も低い評価に対して、配点比率を掛けたものを評価点とし、その他の項目につきましては、各評価基準に基づき、評価点をご記入いただきます。

また、評価項目1、会社概要業務実績と評価項目6、価格点につきましては、事前に算出することができますので、事務局で算出いたします。

委員の皆様には、評価項目2、基本的な考え方から評価項目5、危機管理体制までの計85点の評価点のご記入をお願いいたします。

以上の事務局案について、ご検討をよろしく申し上げます。以上で、選定方法、審査基準

の説明を終わります。

<久保委員長>

ただいま、選定方法、審査基準の説明がありましたが、何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

それでは、事務局が提案した評価基準表に基づいて審査を行うこととしてよろしいでしょうか。

<満永副委員長>

異議なし

<久保委員長>

それでは、書類審査について移りたいと思います。書類審査の方法について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

書類審査の方法についてご説明の前に、審査用紙を配付いたします。お手元の審査用紙をご覧ください。評価項目2から5につきましては、各評価基準に基づき、下の得点記入欄にご記入ください。

評価項目1、会社概要業務実績と評価項目6、価格点につきましては、事務局で算出いたします。

審査時間は1時間程度を目途にさせていただきます。審査が終わりましたら、事務局が回収し、集計いたします。すべて集計が終わりしだい、結果をご報告いたします。

以上で説明を終わります。

<久保委員長>

ありがとうございました。一次審査の記入方法について、何か事務局にご意見、ご質問はございませんか。また、評価項目1と6の算出については、事務局にて計算していただくことでよろしいでしょうか。

<選定委員>

異議なし

<事務局>

それでは、委員の皆さまには評価項目2から5まで審査をお願いいたします。委員の皆さまが付けていただいた総得点を委員数で割った得点と事務局で算出した評価項目1と6の得点を加算してその応募者の得点といたします。

それでは審査をお願いします。

(一次審査)

<久保委員長>

集計が終わったようですので事務局より審査結果の報告をお願いします。

<事務局>

それでは、一次審査結果を報告いたします。

第1位 株式会社近畿日本ツーリスト関西 81.40点

第2位 株式会社アークスリー・インターナショナル 80.70点

以上です。

<久保委員長>

一次審査の結果について何かご意見はございませんか？

<畑山委員>

僅差と言えば僅差ですか、これは。

<久保委員長>

僅差ですね。委託事業者選定委員会は、株式会社近畿日本ツーリスト関西と株式会社アークスリー・インターナショナルを二次審査候補者としてよろしいでしょうか？

<委員一同>

異議なし

<久保委員長>

ありがとうございました。続きまして二次審査の評価基準について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

二次審査の評価基準についてご説明いたします。

二次審査は、一次審査通過者のプレゼンテーション審査を平成30年2月14日（水曜日）に実施するものです。1者20分以内のプレゼンテーションとし、20分間の質疑応答時間を設けることとします。

続きまして、資料の37ページ、二次審査評価基準（案）をご覧ください。二次審査の配点は、100点満点とし、その内訳として、委託業務への理解と企画力で20点、研修についての取り組み姿勢で40点、危機管理体制で40点と考えております。15ページ、資料5、門真市中学生海外派遣研修事業委託事業者選定審査実施要項8、委託事業者の選定方法（4）評価項目の第二次審査という部分をご覧ください。

企画力では「目的を理解し、効果のある企画となっているか」、取組姿勢では、「目的や仕様書を踏まえた研修内容が組み込まれているか」、連絡体制では「国内・現地でのサポート体制について」と「さまざまな緊急時に連絡体制やその対応が的確にかつ具体的に示されているか」として記載しております。

本日は、二次審査にあたり、案として示している評価基準の内容等について、検討及び決定をお願いいたします。

以上、説明を終わります。

<久保委員長>

海外派遣研修プロポーザルにむけて、評価基準の内容などの検討あるいは評価基準の項目が適切であるか、不足していないか等の確認をお願いします。また、疑問に思うところや、もう一度確認しておく必要があるところ等意見ををお願いします。また、二次審査に向けての

疑問点や意見もご自由にいただければと思います。

<畑山委員>

プレゼンの時間は去年より延びましたよね。

<久保委員長>

畑山委員の提案で延びましたよ。

<事務局>

はい去年から時間を延ばし 20 分になりました。

<久保委員長>

質問についてはどうでしょうか。去年は漏れがないように「これだけは質問する」という表があって、あと自由に質問するという形だったんですが、今年も作成いたしますか。

<事務局>

疑問点等やアンケートに基づいて、ある程度整理させていただきます。

<満永副委員長>

質問するかしないかは、委員の個人の観点で委員に任せていただければと思います。

<事務局>

二次審査のプレゼンでこの業者にはこの質問をした方がいい、などのそういうものがあれば、聞かせて頂ければなと思います。

<畑山委員>

先ほど話題にあがりましたが、近畿日本ツーリストの、帰りの乗り継ぎ時間に何をするのか。

<久保委員長>

マレーシアにした理由も。あとは、アークスリーの燃油サーチャージの表示がない件や、文書の書き間違いがありますよ、とか。近畿日本ツーリストの門真市生徒だけの研修について、毎年聞いていますけどね。その他個人的に聴きたいところがあります。これは表に書く

必要はないんですが、アークスリーの方には、昨年から言っておりますとおり、去年のことを踏まえた考えがあるのかとか、イレギュラーがあった時の反省を活かした対応について伺いたい。あと救援の問題も。

二次審査評価基準をこの通りとしてよろしいでしょうか。また、頂きましたご意見を参考に二次審査にて質疑応答をすることでよろしいでしょうか。

ありがとうございます。事務局は、二次審査の準備をよろしく申し上げます。

最後に事務局から今後の予定について連絡をお願いします。

<事務局>

今後の日程をご連絡いたします。二次審査は、平成30年2月14日（水曜日）14時よりこちら市役所本館2階大会議室にて開催いたします。

<久保委員長>

それでは、これで門真市海外派遣研修事業委託事業者選定委員会一次審査を終了します。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。今後とも、よろしくお願いいたします。